

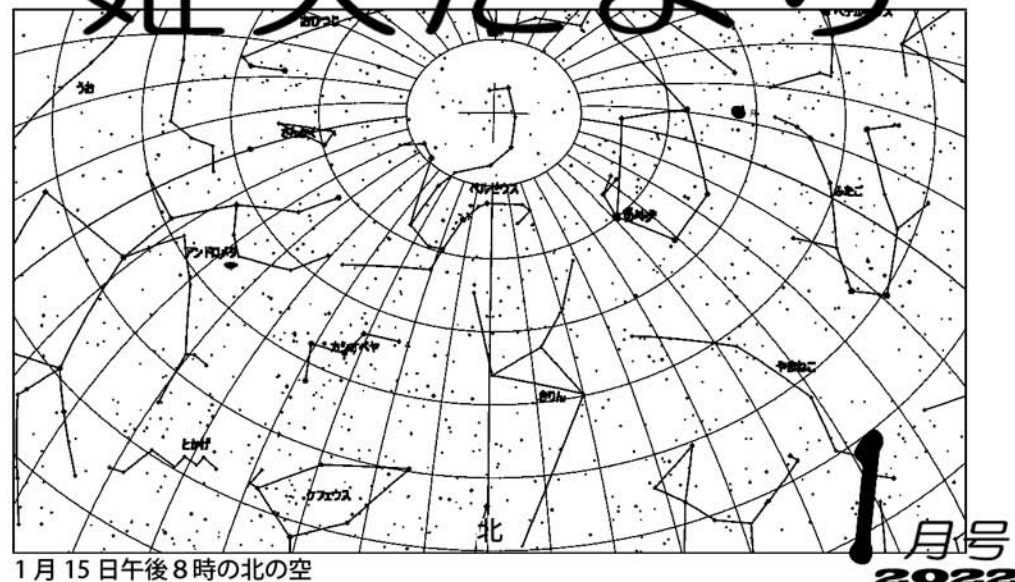
アンドロメダ姫とセリポスへ戻ったペルセウスは難題を押し付けた王様の弟に「これがお望みのメドゥサの首だ」と示すと、ひとめ見るなり石になってしまい、災いの元を退けることが出来ました。その後、お母さんとアンドロメダ姫とギリシアに戻り、今で言うオリンピックでしょうか競技会に参加したペルセウスは5種競技に出場して得意の円盤投げで、手元が狂い見物に来ていた老人の頭に円盤が当たって、その老人は亡くなってしまいます。その老人が実はギリシアの王様でペルセウスのおじいさんだったのです。この事故の後、ペルセウスはアンドロメダとの間に子どもも生まれ幸せに暮らしました。

星座のみどころとしては、二重星団h・X、共に300個ほどの星が集まった星団がわずか0.5度の間隔で並んでいます。双眼鏡でたくさんの星がくっついているように並んでいるのが分かります。また、この星座を憶えておくと、毎年8月の12～13日にピークをむかえるペルセウス流星群を見るときに助けになりますよ。

★今月のテーマ月を観る会

2022年1回目の観望会は月を観る会を行います。
満月前の掛け際のクレーターじっくり見てみませんか。特に月の欠け際はクレーターの影が長く立体的に見えますから注目です。400年前に望遠鏡を手にしたガリレオは月に望遠鏡を向けましたが、現代の私達も双眼鏡や望遠鏡を手にとると初めて向けるのはお月様なんです。もちろん性能は間違いですから、お月様の風景を自分の目で見て楽しみましょう。

姫天だより



1月15日午後8時の北の空

月号
2022

★今月の星座 ペルセウス座

1月上旬、午後8時ごろに北の空高くほぼ頭の真上に輝いている大人の方には漢字の凡の文字、小学生のみんなには人の文字の形に並んだ星の並びを見つけることが出来ます。これが、ギリシア神話の英雄をかたどった“ペルセウス座”です。

見つけ方は西の空大きく傾いてしまいましたが、ペガサスの四辺形の北東の星からアンドロメダ姫の星をホップ・ステップ・ジャンプとたどり、さらに大ジャンプと4段跳びをすると、一番明るい星アルゲニブ（わき腹）にたどり着きます。その名のとおりペルセウスのわき腹に輝いています。このあたりに先に紹介した漢字の文字の形に並んだ星ぼしを探してみてください。頭の真上にあるので可児市の郊外であれば見つけられると思います。

星座の物語はアンドロメダ姫を助けるエチオピア王家の物語に登場するのみなさんも知っていると思うのですが、彼自身の物語は苦難が続きます。自分のおじいさんを殺す運命にありましたから、生れてすぐに母と一緒に箱に入れられて海に投げ捨てられます。しかし、流れ着いたセリポス島の王様の庇護を受けりつばな若者になりました。しかし、王様の弟がペルセウスのお母さんを好きになり邪魔なペルセウスに怪物メドゥサの首を取ってくるように命じられます。ペルセウスのお父さんは天の大神ゼウスであったので、知恵の女神アテナと伝令の神ヘルメスの力を借りメドゥサ退治に何とか成功します。そして、セリポス島へ帰る途中でアンドロメダ姫を助けるお話は、みなさんもご存知でしょう。

-次回の天文クラブ-

●1月の星を見る会

1月15日(土)午後7時30分より
月の観察
冬の星座観察

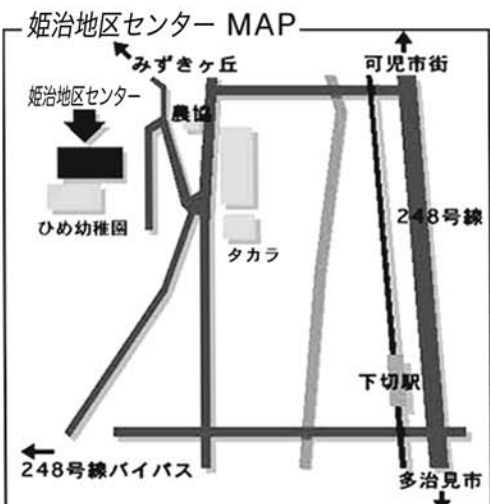
●2月の星を見る会

2月19日(土)午後7時30分より
オリオン大星雲の観察
冬の星座観察

※観察時は冷えますので暖かい格好で来てください。

姫治地区センター
岐阜県可児市下切 1530
☎0574-62-0104

姫治天文台
<http://himeziten.yu-yake.com/>



JR太多線下切駅より徒歩13分
2022年1月1日発行

※観望会についてのお問い合わせは
姫治地区センター (62-0104) まで